

1. 科目名 (単位数)	知的障害者の心理・生理・病理 (2 単位)	3. 科目番号	SSMP2350 SSMP2450 SNMP2450 SCMP2450 SBMP2450
2. 授業担当教員	上田 征三		
4. 授業形態	講義だけでなく様々な形態のグループ討議など、アクティブラーニングに基づいた履修者同士の実践的な学び合いを重視する。※可能であれば補講期間などに関連施設の見学を入れる。	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	「障害児教育論」を履修済みであることが望ましい。		
7. 講義概要	知的障害特別支援学校の在籍児童生徒はいま、その大半が自閉症である。特別支援教育に関わる教員を目指すのであれば自閉症に関する知識、理解を深めることは必須の条件であり、本講座では主に自閉症児者の心理や病理にスポットを当てて講義を進めていく。また昨今では特別支援学校高等部に在籍する軽度知的障害がある生徒が起こす問題行動がクローズアップされている。ダウン症などその他の知的障害も含め、特別支援学校児童生徒の理解に必要な基礎的、基本的知識をベースにしながら彼らの生活全般に係る指導・支援の方法についても考えていく。講義ではスライドや画像、動画、独自の資料を多用し、積極的なグループディスカッションを取り入れ、より実践的に学ぶ。		
8. 学習目標	以下に関して学習し理解を深め、指導実践力を高める。 1. 知的障害に関する基礎的、基本的な知識を理解し、説明することができる。 2. 特に自閉症についてはその発生原因から発達過程、行動特性などについて知り、学校現場での支援方法について考えを述べるすることができる。 3. 各種発達検査の目的、種類、方法、アセスメントについて理解し、説明することができる。 4. ダウン症やその他の知的障害についても理解を深め、説明することができる。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	1. 授業内容に沿った小テストを13回実施 (到達度評価) する。 2. 到達度に至るまで小テストを実施し、未達成者にはレポート (手書き) を課す。 3. 小テストや配付プリントが閉じられるようなノート兼用のバインダーを必ず準備する。 4. 予習時、授業時、復習時でアンダーラインを引き書き込みをするペンの色を使い分ける事を勧める。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 梅谷忠勇・生川善雄・堅田明義『特別支援児の心理学—理解と支援』(新版) 北大路書房、2015。 【参考書】 杉野学・上田征三編著『初めて学ぶ知的障害児の理解と指導』大学図書出版、2020。 石部元雄・上田征三・高橋実・柳本雄次編著『よくわかる障害児教育 (第4版)』ミネルヴァ書房、2020。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 知的障害の心理・生理・病理についての基礎的知識を理解し、説明できるか。 2. 自閉症、ダウン症やその他の知的障害の障害特性を理解し、適切な支援方法・指導実践力がついたか。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。] 1 授業への積極的参加 (総合点の30%) 2 日常の学習状況 (総合点の40%) 3 課題レポート (総合点の30%)		
12. 受講生へのメッセージ	1. 授業中に携帯、私語、居眠り、飲食などをしないこと。 2. 教室を散らかしたり机を汚したりしないこと。 3. マナーを守り、大学生としての学習体制を確立すること。		
13. オフィスアワー	授業以外の時間 (予約をお願いすることもある) ※月曜日は都合がつきやすい。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション&知的障害について —知的障害の概念ほか—	事前学習	知的障害者と触れ合った経験について説明できるようノートにまとめる。
		事後学習	知的障害の概念について授業時間に配布した穴埋め問題の間違った部分をやり直しながらノートにまとめ再確認する。
第2回	知的障害の概念 —知的障害の分類と状態—	事前学習	教科書の pp. 2~14 を読み知的障害の基本的な知識について事前に配布した予習プリントを解く。
		事後学習	知的障害をもたらす様々な病因などについて授業中に実施した小テストをやり直しながらノートにまとめ再確認する。
第3回	知的障害への心理学的アプローチ —知的障害の診断と理解—	事前学習	教科書の pp. 15~24 を読み知的障害の基礎知識について理解し、その要約をノートにまとめる。
		事後学習	知的障害に関する定義や発生要因について授業中に実施した小テストをやり直しながらノートにまとめ再確認する。
第4回	知的障害と処理機能の障害 —知的障害の概要と心理特性—	事前学習	教科書の pp. 50~P. 63 を読み知的障害の認知特性について理解する。
		事後学習	知的障害のパニックやこだわりがなぜ起こるのか、について授業中に実施した小テストをやり直しながら再確認する。
第5回	自閉性障害と処理機能の障害 —自閉性障害の概要と心理特性—	事前学習	教科書の pp. 63~70 を読み自閉症の行動特性について理解し、その要約をノートにまとめる。
		事後学習	パニックや強度のこだわりの原因について授業中に実施した小テストをやり直しながら再確認しノートにまとめる。

第6回	学習障害と処理機能の障害 —学習障害の概要と心理特性—	事前学習	教科書の pp. 71～78 を読み学習障害児への指導・支援について理解し、その要約をノートにまとめる。
		事後学習	構造化、コミュニケーションツールといった専門用語に関する小テストをやり直しながら再確認しノートにまとめる。
第7回	ADHD と処理機能の障害 —ADHD の概要と心理特性—	事前学習	教科書の pp. 79～87 を読み ADHD 児の社会生活等について理解し、その要約をノートにまとめる。
		事後学習	授業中に実施した ADHD の医学的知識に関する小テストをやり直しながら再確認する。また、自閉症関連の課題に沿ったレポートをまとめる。
第8回	肢体不自由、言語障害の表出機能の障害 —肢体不自由、言語障害の心理特性—	事前学習	教科書の pp. 99～107 を読み肢体不自由、言語障害のまとめの穴埋め問題に回答しておく。
		事後学習	様々な肢体不自由、言語障害の問題行動がなぜ起きるのか、授業中に実施した小テストをやり直し、ノートにまとめ確実に理解できるようにする。
第9回	重症心身障害の概要 —重症心身障害の心理特性—	事前学習	教科書の pp. 137～145 を読みその他の重症心身障害について理解し、その要約をノートにまとめる。
		事後学習	重症心身障害の定義や種類について授業中に実施した小テストをやり直しながら再確認しノートにまとめる。
第10回	視知覚機能の障害 —視知覚機能の障害の心理特性—	事前学習	教科書の pp. 170～176 を読み視知覚機能障害と知的障害を伴う症例に関する資料を事前に配布するので読んで理解し、その要約をノートにまとめる。
		事後学習	視知覚機能障害と知的障害を伴う病種について授業中に実施した小テストをやり直しながら再確認しノートにまとめる。
第11回	知的発達の障害とその支援 —知能検査とその研究—	事前学習	教科書の pp. 177～184 を読み知的発達の障害について資料を事前に配布するので読んで理解し、その要約をノートにまとめる。
		事後学習	知的発達の障害への支援のあり方などについて授業中に実施した小テストをやり直しながら再確認する。また、知的発達の障害全般に関する課題に沿ったレポートを作成する。
第12回	知的障害児の支援 —問題解決行動とその支援—	事前学習	教科書の pp. 185～191 を読み知的障害児等の発達検査について資料を事前に配布するので読んで理解し、その要約をノートにまとめる。
		事後学習	発達検査の目的、種類等について授業中に実施した小テストをやり直しながら再確認しノートにまとめる。
第13回	言語の獲得・表出障害 —言語発達遅滞のアセスメント—	事前学習	教科書の pp. 192～197 を読み言語発達遅滞のアセスメントについて資料を事前に配布するので読んで理解し、その要約をノートにまとめる。
		事後学習	言語発達遅滞のアセスメントについて調べ次時に発表できるようにする。また、授業中に実施した小テストをやり直しながら再確認しノートにまとめる。
第14回	支援機器による学習支援 —支援機器利用と学習支援—	事前学習	教科書の pp. 198～213 を読み知的障害にかかる現代の課題に関する資料を読み、自分の意見を持つことができるよう準備し、その要約をノートにまとめる。
		事後学習	最新の社会事情の中で障害にまつわる出来事について最も関心のあるものを調べ、ノートにまとめ発表できるよう準備する。
第15回	全体のまとめと質疑応答	事前学習	全講義を通じて関心が高かったテーマを選び、それになぜ関心を持ったのかノートにまとめ説明できるよう準備する。
		事後学習	知的障害児者の心理や病理に関する課題に沿ったレポートを作成する。
期末試験			